令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・1年生は6つの領域のうちすべてで目標値を上回っている。これまでの学年が苦手にして いた短答形式の問題でも目標値を上回った。
- ・2年生は地理的分野、歴史的分野のいずれも目標値を上回っている。
- ・3年生は6つの問題内容のすべてで目標値を上回ることができた。特に昨年度課題となっていた地理的分野において正答率に大幅な上昇が見られた。

(2) 課題

- ・1年生は、領域別でみたときに「我が国の農業や水産業」において、目標値に対して平均 正答率がわずかに上回る結果にとどまった。
- ・2年生は、出題形式のうちでも記述問題の正答率が目標値を下回った。また、知識を活用する問題や、主体的に学習に取り組区む態度の観点で目標値を下回ってしまった。
- ・3年生は、出題形式としては、記述・短答の問題に課題が見られた。領域別にみると歴史的分野での正答率に課題が見られた。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	目標値との比較△		
第2学年	前年との比較-0.4 目標値との比較△	前年との比較-0.6 目標値との比較△ (第1学年時)	
第3学年	前年との比較+2.7 目標値との比較△	前年との比較-0.6 目標値との比較△ (第2学年時)	前年との比較-0.6 目標値との比較△ (第1学年時)

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	目標値、区・全国平均正答率	目標値、区・全国平均正答率	目標値、区・全国平均正答率	
	のいずれも上回っている。目	のいずれも上回っている。	のいずれも上回っている。	
	標値を最も大きく上回った。			

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値、区・全国平均正答率	目標値、区・全国平均正答率	区の平均正答率は上回った
のいずれも上回っている。	のいずれも上回っている。	が、目標値・全国平均正答率
		のいずれも下回ってしまっ
		た。

③ 第3学年

0 20 1		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全国平均正答率をわずかに	区・全国平均正答率を上回	目標値、全国平均正答率を上
上回り、目標値、区平均正答	り、目標値を大きく上回る結	回り、区平均正答率を大きく
率を大きく上回る結果とな	果となった。	上回る結果となった。
った。特にこれまで課題とな		
っていた地理的分野におい		
て大幅な向上が見られた。		

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

(1) /(1)			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
目標値を上回ってはいるが、	目標値を上回った。より思考	区の平均正答率が目標値を	
「我が国の農業や水産業」の	力・判断力を伸ばしていける	下回る中、校内の正答率は目	
領域は平均正答率がやや低	よう、単元間のつながりを常	標値を上回った。実物教材や	
くなっている。2学年での授	に思考させる授業展開を心	他の教科との関連を実感さ	
業を計画しているが、産業の	がける。また表現力を高める	せる授業の工夫を行い、生徒	
理解を円滑にするためにも、	ために、論述やレポート課題	の主体性を伸ばしていきた	
ICT 機器および学習アプリな	等を導入していく。	V.	
どの活用による知識定着も			
視野に入れていく。			

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均正答率が目標値を	目標値を上回ることができ	目標値と全国平均を下回っ
下回る中、校内の正答率は目	たが、記述問題では目標値を	てしまった。無回答の設問の
標値を上回った。小テストの	下回っており、表現能力に弱	割合がやや多い。 教材や ICT
実施、復習課題の設定によ	点を抱えていると考えられ	機器の活用などを通して、生
り、さらなる知識・技能の習	る。自分の理解を文章化する	徒の主体性を引き出す工夫
得に取り組んでいく。	能力を向上させられるよう、	を行いたい。
	生徒の言葉によるまとめを	
	行う機会を増やす。	

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元ごとの振り返りシート	今年度も目標値を大きく上	今年度も目標値を大きく上
などに取り組むことで、基礎	回る結果となった。3年間	回る結果となった。統計資料
的な知識・技能の定着につな	「考える授業」を心がけてき	を読み取る問題に若干の課
げることができた。今後も基	た成果を出すことができた。	題が見られたため、今後の授
礎学力の定着を図りつつ、活	今後も単元間のつながりや	業で資料を読み取る活動を
用する力を磨くことに重点	他教科との関連を意識した	増やし、社会に対して多面
をおいて授業づくりに取り	授業を行っていく。	的・多角的に学習する態度を
組んでいく。		育んでいく。